

# 2022

# レース結果報告書

## 全日本選手権 第1戦 茂木大会



**DOG FIGHT R**

株式会社ドッグファイトレーシング

# 全日本選手権・レース結果

## Race

2022年開幕戦。今年は昨年ランキング6位を獲得した豊島怜(23)と、同24位の谷本音虹郎(22)の2名の若手が全日本選手権・ST1000クラスにフル参戦致します。昨年急成長を見せ今期はヤマハの若手育成枠に加わった豊島がさらなる成長を目指してシーズンに臨みました。そして昨年は空回りしてしまった谷本が本来の力を出して再び成長軌道に戻るために覚悟の一年となる開幕戦でした。

そのレース結果をライダーのコメントと共にご報告いたします。

タイトル：全日本選手権 第1戦 茂木大会（モビリティリゾート茂木）

開催日：2022年4月2-3日

観客動員：5500人（土日合計）

リザルト：#6 豊島 怜 予選7位 決勝リタイヤ  
#24 谷本音虹郎 予選13位 決勝21位



# レース報告・豊島怜 #6

## Race

### 豊島怜コメント

事前テストから走行を重ねる毎に順調にタイムアップする事ができ、すぐに昨年のベストタイムを超えることができました。腕上がりの手術の成果もしっかりと出ていました。何ラップ走っても腕上がりすることは無くなり、数年間悩んでいたことなので大きな前進を感じました。レースウィークも順調にまとめる事が出来て決勝に向けたフルタンクでのロングランでも最初から最後までベストタイムに近い52秒中盤のペースで走ることができ自信を得られました。

### 公式予選

30分間の予選では先頭でコースインしてタイヤが1番機能する3周でタイムを出す作戦でした。しかし、肝心の3周目に赤旗中断となってしまうタイヤの1番機能する所を使う事が出来ず、再開後もクリアラップを取れない中でプッシュしてベストタイムを1秒近く更新する1'51.619を出しましたが、結果は7番手となり3列目のグリッドになってしまいました。

### 決勝

決勝日は朝から気温が低く不安定なコンディションの中でフリー走行ではフルタンクでの走行で5番手ととても良好な感触で決勝を迎える事となりました。決勝レース前に雨が降り出し路面はウエット。直前のJSB1000のレースでも上位はレインタイヤの為サイティングラップをレインタイヤで出走しましたがドライタイヤでいけると判断してグリッド場でのタイヤ交換を実施。作業時間内の交換が間に合わずペナルティを受ける覚悟で臨んだレースとなりました。スタートで5位まで上がり、V字コーナーを立ち上がったところで2速からシフトチェンジが不可能になり、そのまま走り切れるわけもなく危険と判断した為リタイアしました。

マシントラブルという非常に残念な結果で終わってしまい、言葉では表せないほど悔しい思いをしました。今年は表彰台、優勝、チャンピオンだけを見てオフシーズンを過ごしてきました。腕上がりの手術、毎週のダートトレーニング、毎日のフィジカルトレーニングを徹底してきました。その結果トップとの差を埋めることができ、毎回のセッションでも5位や7位では満足するはずもなく常にトップを目指して取り組んできました。表彰台が狙える位置まで上がってこれたと思います。今回結果は残りませんでした。日々の取り組みやチームと前進してきたことは無くならないので、この悔しさを忘れずに次戦のSUGOに臨みたいと思います。

チーム関係者の皆様、並びにご協賛して頂いている各位スポンサーの皆様、誠にありがとうございました。

# レース報告・谷本音虹郎 #24

## Race

### 谷本音虹郎コメント

事前テストから着実にタイムアップが出来てマシンの感触もどんどん良くなっていました。レースウィークに入り木曜日の1本目は良いコンディションで走れましたが、それ以外の走行は気温も路面温度も低く、難しいコンディションになりました。そんなコンディションでも2本目に自己ベストを更新でき、金曜日の1本目に中古タイヤでさらにベストを更新することが出来ました。タイムアップを狙って2本目の走行で新品タイヤでコースインしましたがマシントラブルが出てしまいコース上でストップ。タイムを伸ばすことが出来ませんでした。

### 公式予選

マシンを修復して臨んだ公式予選。序盤にタイムを出したかったのですが、2周目の赤旗でリズムが乱れてしまい目標のタイムに届きませんでした。その後タイムアップを狙ったのですが、ペースが遅い集団に引っかかってしまい、自己ベスト（1分52秒993）は更新できましたが、結果は13位で5列目からのスタートとなり厳しい予選となりました。

### 決勝

決勝はウェットコンディションから徐々に乾いていくという難しいコンディションになりました。最初はレインタイヤでコースインしたのですが、路面が想像以上に乾いていて、グリットでドライタイヤに変えようと思いました。しかし交換が間に合わず、リヤタイヤだけドライタイヤでレースに望みました。スタートは決まって9位まで上がることが出来たのですが、フロントタイヤがやはり厳しく徐々に順位を落としてしまい、21位でチャッカーを受けました。

今回はレースウィークの流れは悪くありませんでしたが、決勝で天気に翻弄されてしまい、結果を残すことが出来ず悔しい結果となりました。しかしオフシーズンに取り組んだダート練習などのおかげでズルズルになったフロントタイヤをコントロールして最後まで走り切る事が出来ました。昨年までの自分よりも精神的にも体力的にも全身を感じる事が出来ました。次戦の菅生では事前テストからしっかり上位を走れるように頑張ります！

スポンサーの皆様、チームスタッフ、応援して下さった皆様、沢山のご支援ありがとうございました。次戦も全力で頑張りますので応援よろしくお願いたします。

# 監督コメント

## Ofisyaru Comment

事前テストから少しづつセットアップや走りのアレンジを詰めて来た2人。公式練習、公式予選と着実にタイムアップして自己ベストも更新する順調なレースウィークでした。決勝の朝もフリー走行で路面温度17度とグリップの低いコンディションの中で豊島怜5番手、谷本音虹郎11番手と決勝に向け手応えを感じていましたが、雨で全てのリズムが狂い出し、豊島怜はスタート1周目にマシントラブルで緊急ピットイン。そのままリタイヤとなってしまいました。谷本音虹郎もフロントタイヤにレイン、リヤタイヤにドライのタイヤ選択が裏目に出てしまい、1周目を9番手で通過しましたがズルズルと順位を落として21番手でチェッカーとなりました。

チームの準備や力不足のせいでライダーに力を出し切らせることが出来無くてとても残念なレースとなってしまいました。

応援いただきました皆様にはこのような結果報告となってしまい誠に申し訳ございません。次の菅生ではしっかりと結果を残していきたいと思えます。

代表 室井秀明

# スポンサー



竹中興運



ご支援・ご協力を賜り誠に有難うございます。2022年も頑張ります！



# ギャラリー

## Gallery

